

令和6年度 事業報告

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

1. 新規・重点事業

(1) 地域課題の解決力強化（重層的支援体制整備事業）の推進

○ 住民福祉活動の拠点支援の強化

住民主体の地域福祉活動の常設拠点への家賃補助を行いました。また、常設拠点と連携を図りながら、居場所や役割づくり、体験の場への参加促進を推進しました。

・家賃補助等 2団体 310,000円

○ ボランティアによる移動支援

移送ボランティアによる地域拠点（生活支援体制整備事業による拠点）や買い物などの外出支援等のために本会車両を活用した福祉運行を行いました。

・89回運行（延べ851名利用）

○ 引きこもり者への居場所支援

引きこもりがちな人への居場所と役割の創出支援を行いました。

・51回開催（延べ229名の参加）

○ CSW（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）の配置

支部社会福祉協議会担当職員を含む職員10名をCSWとして兼務にて配置しました。

○ その他

・視察受け入れ（1回）

10月30日（水） 射水市社会福祉協議会（富山県）

・重層的支援体制整備事業研修会への協力（2回）

(2) 生活支援体制整備事業の推進

○ 第2層の運営及び更なる推進のための支援

社協支部10のエリアにおいて、立ち上がった第2層協議体や拠点の継続、支え合いの仕組みを創出するための支援、活動の拡大を住民と共に行いました。

第2層協議体：7か所

・入間川茶べり場

・おたがいさまのふじみ

- ・いりそ支え合いたっち ・奥富地区支え合いネットワーク会議
- ・柏原「きのえね坂の家」 ・まちの縁側推進プロジェクト水富
- ・みま～も狭山台

※ 第2層協議体の立ち上がっていない3か所のうち2か所への働きかけを地域包括支援センターやトータルサポート室と行いました。

○ 第2層協議体代表者会議（1回）

《日 程》 8月22日（木）

《会 場》 社会福祉会館 大会議室

《参加者》 7地区（7名）

○ 小地域福祉活動の人材育成

地域のニーズに合った人材養成講座や市民フォーラム、講演会を開催し、生活支援の担い手とリーダーを養成しました。また、次世代を担う高校生の活動を支援しました。

- ・高校生YUMEプロジェクト

《開催回数》 夏休みのYUMEプロジェクト体験会 2回

（中高生、OBOG延べ24名参加 大人10名参加）

夏休み自習室開放8日間 利用者延べ23名

中高生・OBOGとのミーティング 6回 延べ27名参加

プロジェクトごとの活動 計2回、延べ10名参加

塗るプロジェクト 職員2名、学生1名

はじめのいっぽ会 職員1名、アドバイザー1名、参加者5名

チラシ配布 2日間、外部説明会 6回

アドバイザー等との打ちあわせ 17回

地域活動をする中・高・大学生交流会 2日間 延べ98名

○ 第1層協議体の運営

第1層協議体の運営を行い、支え合いを生み出す仕組みを整備しました。

- ・第1層協議体定例会 6回開催

- ・地域福祉フォーラム

《日 程》 10月29日（火）

《会 場》 社会福祉会館 大会議室

《内 容》 「住民主体の地域福祉活動のこれから

～狭山市の生活支援体制整備事業から見てきたこと～」

《参加者》 8名

- ・地域福祉活動推進会議との意見交換会 1回開催

- ・視察研修「南アルプス市の生活支援体制整備事業について」

《日 程》 11月26日（火）

《参加者》 15名

○ 小地域福祉に係る社会資源の把握と開発

住民主体の活動状況の把握と支援を行いました。地域ケア会議や市の評価会議において情報共有と地域課題を分析し、その対応に取り組みました。

常に市内の社会資源の把握を行い「地域資源管理サービスサイト」（データベース）を活用し、新たに「狭山市地域資源情報サイト さやナビ」を本会ホームページ上に立ち上げ、社会資源の共有を図りました。

- ・チラシ配布 地域包括支援センター、居宅介護支援事業者等に対して2回実施
- ・A y a m u サービス情報数 463件
- ・さやナビ登録数（提供団体数） 296件

○ 生活支援コーディネーターニュースの発行 2回（9月・2月） 3,000部

○ さやま地域福祉活動 café の開催 5回開催 延べ42名

(3) C S W（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）活動

○ C S W（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）の配置

支部社会福祉協議会担当職員を含む職員10名をC S Wとして兼務にて配置し、出張相談を含めて188件の相談に対応しました。

○ 出張相談会の開催 56回開催（相談件数 58件）

老人福祉センター3館において、「福祉何でも相談会」を各館月1回開催しました。また、老人福祉センター以外でも相談に対応しました。

水富地区をモデル地区として、水富公民館と広瀬公民館との共催で「暮らしの談話室」（屋外型サロン・出張相談会）を開催しました。

- ・福祉何でも相談会（老人福祉センター） 35回開催（延べ42件）
- ・暮らしの談話室（水富地区） 21回開催（延べ16件）

○ 部門間連携会議・情報共有の場

内部連携によりC S Wとしてのスキルアップを図るため、情報共有やケース検討を中心とした部門間連携会議を設置し、課題解決力の向上を図りました。また、C S W同士の情報共有を図るため、オンラインを活用した情報共有の場を開催しました。

- ・部門間連携会議 11回開催（延べ131名参加）

・情報共有の場 22回開催（延べ156名参加）

- 埼玉県孤独・孤立官民連携プラットフォームへの参加
- 重層的支援会議への参加（5回）

- 地域学校協働本部との連携への働きかけ

コミュニティスクール構想の中、小・中学校を中心として立ち上げる「地域学校協働本部」に、CSWが持つネットワークを活用することで、地域のプラットフォームづくりが推進できることから、「地域学校協働本部」とCSWとの連携について働きかけをしました。

・学校運営協議会・SCSCに関する研修会への参加（2回）

（4）コロナ後の生活困窮者への相談支援の実施

- 生活福祉資金（特例貸付）等の借受人への償還支援

埼玉県社会福祉協議会から受託している生活福祉資金について、特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金初回・延長・再貸付）の償還についての問い合わせや、償還の困難な世帯の相談を受け免除申請・償還猶予申請の手続き等を援助し、生活困窮者自立支援事業における自立相談支援機関と連携をとり、生活困窮者の生活再建を支援しました。

- 生活福祉資金（特例貸付）等の借受人への相談支援

埼玉県社会福祉協議会から受託している生活福祉資金（特例貸付）について、コロナ禍で収入減少のあった世帯に対して免除申請を中心に相談支援を行いました。

償還開始後の返済困難者へは猶予申請の案内や、償還猶予延長の面談を対応しました。

- ・職権免除（自己破産、本人死亡等による免除）

99件 34,300,000円

（99件中の猶予後免除33件 10,850,000円）

（令和4年度からの合計 180件 80,900,000円）

- ・申請免除（生活保護世帯、障害者手帳1級保持者の免除）

37件 15,319,640円

（令和4年度からの合計 57件 29,869,960円）

- ・判定免除（申請【非課税世帯】に基づく免除）

全額免除 254件 132,172,510円

（令和4年度からの合計 1,572件 624,168,820円）

一部免除 44件 15,835,470円

（令和4年度からの合計 129件 42,965,640円）

- 令和6年度 償還猶予決定件数 57件（令和5年度からの合計 277件）
 - ・償還猶予延長面談（1回目） 44件
 - ・償還猶予延長面談（2回目） 16件

- 住居確保給付金の受付

狭山市から受託をしている生活困窮者自立支援事業について、離職による就労支援を行った世帯への家賃支援と就労支援を行う住居確保給付金の受付を行いました。

支給決定件数 新規35件 延長14件 再延長5件 【※週1回の面談が必須】

- 狭山市緊急自立支援給付事業

生活困窮者の伴走支援をするにあたり、生活再建の第一歩として緊急を要する際に、つなぎ資金の給付を行いました。

《給付件数》 19件

《給付金額》 172,000円

- 就職活動のためのデジタル支援

10月29日（火）就職支援セミナーと同時開催をし、4名の参加がありました。

- 就労支援セミナー・合同就職面接会事業

働きたい人と人材確保をしたい企業との出会いの場となる事業を開催しました。

《日 程》10月29日（火）

《会 場》市民交流センター コミュニティホール

《参加者》42名（企業8社）

- 生理用品の配布「クローバープロジェクト」

様々な事情により、生理用品を入手することができない等の悩みを抱えている方を支援するため、窓口等において生理用品の配布を行いました。

《配 布 数》 50セット

- フードバンク等支援事業

食糧支援を行うフードバンク、フードパントリーへ助成金を交付しました。

《団体数》 3団体

《助成額》 450,000円

- 埼玉県県下一斉フードドライブキャンペーンへの参加

埼玉県庁の呼びかけに応え、管理施設2か所でフードドライブを実施しました。

《期 間》 1 0 月～1 1 月

《会 場》 社会福祉会館、狭山市駅東口事務所

《数 量》 3 1 2 kg

(5) 狭山市地域福祉活動計画の推進

令和3年度からの5か年計画である第4期狭山市地域福祉活動計画に基づき、地域福祉活動推進会議を設置するほか、地域福祉活動計画での基本目標を総合的に後押しするための4つの「さやまプロジェクト」を実現するためのプロジェクトチームをつくるなど、地域福祉の推進に努めました。

- ・地域福祉活動推進会議 4回開催
- ・さやまプロジェクト 本会事業の中でプロジェクトを意識した個別の事業展開
- ・第1層協議体との意見交換会 1回開催

(6) 狭山市社会福祉協議会発展・強化計画の推進

第1期狭山市社会福祉協議会発展・強化計画に基づき、計画的な推進を図りました。

【主な対応】

- ・C S W同士の情報共有の場の整備
- ・人事労務に関する研修の開催及び受講

(7) 水富地域包括支援センターの受託

市内8か所目の地域包括支援センターとなる水富地域包括支援センターを受託し、4月から事務所を開設しました。

(8) 老人福祉センターeスポーツ・スマートフォン使用相談

老人福祉センター3館で、認知症予防や高齢者のデジタル活用を促すため、eスポーツの導入やスマートフォンの使用相談を行いました。

① eスポーツの導入

・老人福祉センター宝荘では、週1回開催する「サロンはなみずき」でeスポーツの取り組みを始めました。少しずつ体験を重ねることで関心度が上がり、体験可能日を増やしました。また、口コミで参加者が増え「宝荘eスポーツメンバーズ」が立ち上がりました。

eスポーツメンバーズ…21名

・老人福祉センター寿荘では、「たまり場」活動で「eスポーツ体験」を実施しました。初めてeスポーツを経験する方がほとんどだったため、定期的を実施する「たまり場活動」で導入を勧めていくこととなりました。

参加者人数・・・20名

②スマートフォンの使用相談

・老人福祉センター宝荘では「お気軽スマートフォン相談」を常時開催しました。相談対応は各職員なので、可能な範囲での回答になりますが、利用者の相談は、比較的日常的な内容で対応は可能でした。同じことを何回相談してもよいので、利用者は気軽に相談することができました。

また、利用者同士でグループラインを作って情報共有したり、アプリを活用して健康維持を図る際のサポートも行いました。

相談件数… 142件

・老人福祉センター寿荘では、「スマホ教室」を12月に実施し、多くの方が参加しました。初歩的な操作及び比較的使用頻度の高い操作に相談が多くありました。

参加者人数・・・20名

・老人福祉センター不老荘では「かんたんスマホ教室」を8月と10月に開催しました。au 狭山店員に講師を依頼し、スマートフォンを持っているが使い方がよくわからない、携帯を使っているがスマートフォンに切り替えたい等の初心者向けの講座を行いました。

参加者人数… 36名

(9) 社協活動の理解の促進及び機能強化

○ 社協活動の理解の促進

ユニフォームやジャンパー、ポロシャツを作成しました。

社協ホームページや Facebook、Instagram を随時更新し、情報発信に努めました。

YouTube「狭山市社会福祉協議会チャンネル」を活用し、さやまケーブルテレビ作成の広報番組「ふれあいころちゃん」を年4回配信するほか、さやま地域福祉活動 café などの映像も公開しました。

○ 登録者への自動メール配信

メールアドレス登録者に対し、イベント周知やボランティア募集、社会福祉会館スケジュールなど、多様な情報を自動メール配信にてタイムリーに届けました。

・メール配信件数 延べ1, 160件（配信回数 41回）

○ 災害時の対策の充実

災害時の施設機能の強化を目的として、備品類を購入しました。

《購入品》災害備蓄品（ヘルメット）

《保管先》社会福祉会館、狭山市駅東口事務所 等

2. 会の運営

(1) 理事会 3回開催

第1回理事会 6月7日(金)

- 議案第 1 号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会就業規則の一部改正について
- 議案第 2 号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会非常勤職員・嘱託職員・期間契約職員規程の一部改正について
- 議案第 3 号 令和5年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業報告について
- 議案第 4 号 令和5年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会決算認定について
- 議案第 5 号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会評議員選任・解任委員候補者(案)について
- 議案第 6 号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会評議員候補者(案)について
- 議案第 7 号 令和6年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について
- 議案第 8 号 令和6年度定時評議員会の開催について
- 議案第 9 号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会役員候補者(案)について

第2回理事会 11月27日(水)

- 議案第10号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会就業規則の一部改正について
- 議案第11号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会非常勤職員・嘱託職員・期間契約職員規程の一部改正について
- 議案第12号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会委員等の費用弁償に関する規程の一部改正について
- 議案第13号 令和6年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会顕彰対象者(案)について

第3回理事会 3月14日(金)

- 議案第14号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会就業規則の一部改正について
- 議案第15号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会給与規程の一部改正について
- 議案第16号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会非常勤職員・嘱託職員・期間契約職員規程の一部改正について
- 議案第17号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
- 議案第18号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事務決裁規程の一部改正について
- 議案第19号 役員等賠償責任保険の契約について
- 議案第20号 令和6年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第1次補正予算(案)について

議案第 2 1 号 令和 7 年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業計画（案）
について

議案第 2 2 号 令和 7 年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会予算（案）について

議案第 2 3 号 令和 6 年度第 2 回評議員会について

（2）監査会 2 回開催

第 1 回監査会 5 月 2 8 日（火）

議案 令和 5 年度会計決算監査について

第 2 回監査会 1 1 月 2 9 日（金）

議案 令和 6 年度上半期会計決算監査について

（3）評議員会 2 回開催

定時評議員会 6 月 2 6 日（水）

議案第 1 号 令和 5 年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業報告について

議案第 2 号 令和 5 年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会決算認定について

議案第 3 号 社会福祉法人狭山市社会福祉協議会役員の選任について

第 2 回評議員会 3 月 2 5 日（火）

議案第 4 号 令和 6 年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会第 1 次補正予算（案）
について

議案第 5 号 令和 7 年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会事業計画（案）
について

議案第 6 号 令和 7 年度社会福祉法人狭山市社会福祉協議会予算（案）について

（4）評議員選任・解任委員会 1 回開催

第 1 回評議員選任・解任委員会 6 月 1 8 日（火）

議案第 1 号 次期評議員候補者の推薦について

（5）正副支部長会議 3 回開催

第 1 回支部長会議 7 月 1 6 日（火）

1. 在宅福祉サービス事業交付金について

2. 在宅福祉サービスに対する保険について

3. 社協会費の税額控除について

4. 支部社会福祉協議会の令和 6 年度活動について

第2回支部長会議 12月17日(火)

1. 第45回社会福祉大会について
2. 在宅福祉サービス事業交付金について
3. 支部社会福祉協議会の活動について

第3回支部長会議 3月26日(水)

1. 令和7年度事業計画について
2. 令和7年度支部活動費(見込み)について
3. ボランティア活動保険等について
4. 令和7年度支部総会について
5. 支部社会福祉協議会の活動(令和6年度振り返り、令和7年度予定)について

3. 委員会の運営

- | | |
|----------------------|------|
| (1) 評議員選任・解任委員会 | 1回開催 |
| (2) 助成金交付事業審査委員会 | 1回開催 |
| (3) 手話通訳者派遣事業運営委員会 | 2回開催 |
| (4) ボランティアセンター運営委員会 | 2回開催 |
| (5) ささえあい狭山運営委員会 | 4回開催 |
| (6) さやま成年後見センター運営委員会 | 4回開催 |
| (7) 虐待防止委員会 | 2回開催 |
| (8) 感染症対策検討委員会 | 2回開催 |
| (9) 身体拘束適正化検討委員会 | 2回開催 |

4. 財源の確保

- (1) 社協会員の加入促進 7,253件 5,376,500円

○既存会員の会費納入及び新規会員の加入募集

○自治会空白地域へのポスティング 約2000軒

- (2) ささえあい狭山会員の加入促進 228件 456,000円

※ 令和2年度より活動状況に応じ、提供会員へは年会費の半額を返金しています。

- (3) 社会福祉活動基金・経営安定化基金の運用

国債で運用を図りました。

受取利息配当金収入 2,800,000円

(4) 赤い羽根共同募金 6, 001, 598円

○埼玉県共同募金会狭山市支会に協力

(5) 地域歳末たすけあい募金 4, 088, 734円

○埼玉県共同募金会狭山市支会に協力

(6) 社協だより「ふれあい」等へ広告掲載

有料広告の掲載 1件

ホームページバナー広告 1件

(7) 寄付金

寄付金収入 10, 517, 082円 (123件)

5. 事務局体制・機能の強化

業務運営会議、職員任用委員会、勤務評定を実施するとともに、研修への積極的な参加を図り、人材育成・交流・適正配置に努めました。

(1) 研修 215回

埼玉県社会福祉協議会、全国社会福祉協議会等による研修に積極的に参加することで、本会職員としてのスキルアップを図りました。

○ 参加した主な研修

市町村社協常務理事・事務局長（兼）地域福祉推進担当課長会議、会計研修、スーパービジョン研修 等

(2) 内部研修 4回 計61名参加

(3) 事務局機能の強化

グループリーダーである主査以上の職員による業務運営会議の開催のほか、勤怠実績の把握をより効率的にできるよう、勤怠管理システムとスケジュール管理システムの連携を行いました。

(4) 人事考課の実施 2回実施

(5) 職員の自己申告制度の実施 1回実施

(6) 事務事業評価の活用

子ども食堂やフードパントリー、無料学習塾への支援のあり方について検討しました。

6. 調査研究

(1) 遺贈寄付に係る調査研究

地域で暮らした人が、最後に地域のためにお金を使う、人生最後の社会貢献である遺贈寄付についての相談を受けられる体制を整えました。

・相談 1件

・遺贈 1件 5,412,150円の受け入れ

7. 連絡調整

関係機関との連携の充実・強化を図りました。

(1) 狭山市自治会連合会・狭山市民生委員児童委員協議会・市役所職員との連携

会員会費、共同募金（赤い羽根共同募金・地域歳末たすけあい募金）の協力を依頼し、実施しました。

また、民生委員・児童委員協議会の活動に対する補助金を交付し、地域福祉活動の支援を行いました。

(2) 狭山市自立支援協議会への参加

狭山市自立支援協議会の代表者会議や実務者会議、部会に参加し、障害者福祉サービスに関する関係機関・事業所との連携を図り、障害者福祉サービスの質の向上に努めました。

(3) 入間川・入間川東地区、入曽地区、水野地区、富士見・中央地区、狭山台地区、堀兼・奥富・新狭山地区、柏原地区、水富地区の地域包括支援センターが主催する日常生活圏域会議に参加しました。

(4) 社会福祉審議会、協働推進委員会、協働推進協議会、青少年を育てる市民会議、子育て支援ネットワーク会議、要保護児童対策地域協議会、地域公共交通活性化協議会など狭山市の主催する会議に参加しました。

(5) 社会福祉法人との連絡・調整・連携 未実施

8. 普及宣伝

- (1) 広報委員会 委員会の見直しのため、開催せず
- (2) 社協だより「ふれあい」の発行
年4回（4月・7月・10月・1月）発行 各回57, 200部
※ 令和5年度から市報の中に挟み込んで配布しています。
- (3) 諸事業の広報用印刷物発行
- (4) ホームページの更新 128回（アクセス数 85, 147件）
- (5) ガイドブック 1, 000部作成
- (6) YouTube の更新 5回
チャンネル登録数 288名
総再生回数 46, 623回
- (7) Facebook の更新 159回（ページフォロワー数 855件）
- (8) Instagram の更新 110回（ページフォロワー数 74件）

9. 支部社協への支援

- (1) 支部長会議を通して市社協と支部社協の連携
- (2) 支部社協の諸事業に協力・援助（活動費交付等）
- (3) 支部社協在宅福祉サービス推進事業に協力・援助
- (4) 支部活動に関連する情報提供
- (5) 生活支援体制整備事業等を通じたコミュニティづくり推進のための連携

10. 在宅福祉サービスの推進

- (1) 市社協における推進
 - 在宅福祉サービス推進委員会 委員会を見直し中のため、開催せず
 - 研修会（衛生講習会） コミュニティサロン協議会と一緒に開催

(2) 支部社協における推進

- 支部在宅福祉サービス推進委員会
- 孤立予防・安否確認のための友愛訪問の実施、支部だよりの発行

1 1. 福祉教育

(1) 福祉体験教室の実施

車椅子体験、視覚障害者体験、高齢者擬似体験、障害者の当事者講話、小学生向けのキッズあいサポートを小学校等で実施しました。

《件数》 16件（小学校（PTAを含む） 15件、高校 1件）

《対象者数》 延べ1,561名

(2) 福祉教育サポーター養成講座

《日程》 8月21日（水）、28日（水）（全2日）

《内容》 車椅子、アイマスク体験、当事者講話

《修了者数》 4名

(3) 福祉教育サポーター勉強会 実施なし

1 2. 高齢者福祉

(1) 福祉機器の貸出

介護保険認定者以外で、福祉機器等（車椅子、歩行器、シャワーチェア等）の必要な方へ原則3か月を期限に貸出しを行いました。

- ・車椅子 60件
- ・その他 8件

(2) 介護用おむつ類の受け入れと活用

家庭で不要となった未開封の介護用の紙おむつやリハビリパンツ、尿取りパッド等を受入れ、本会会員で必要としている方への支援として活用しました。

- ・支給件数 155件

1 3. 障害者福祉

(1) 障害者団体等への協力援助 8件 699,000円

障害者団体の活動や事業に対する助成を行いました。

(2) 助成金交付事業審査委員会 1回

6月24日(月) 1. 令和6年度さやま福祉活動応援助成金の審査について
(申請 8団体)

(3) 手話通訳者派遣事業(市からの受託事業)

《派遣件数》 737件

《派遣人数》 837名

○ 手話通訳者派遣事業運営委員会(2回)

7月25日(木) 令和5年度狭山市手話通訳者派遣事業報告について

2月13日(木) 令和7年度狭山市手話通訳者派遣事業計画について

○ 登録手話通訳者研修会

《回数》 3回

《参加者》 延べ19名

○ 水富支部講座協力(1回)

《日程》 7月30日(火)

《内容》 「天気を手話で伝えてみよう」

○ 手話通訳者派遣事務所だより『手輪』

年5回(4月・7月・8月号外・11月・1月)発行 延べ4,184部

※8月号外は手話通訳者派遣利用者向けに「災害の備え」に関する情報提供として
限定的に発行

○ 頸肩腕症候群健診の受診

《回数》 1回

《参加者》 6名

(4) ハンディキャブの貸出・運行

障がいにより外出が困難な人が積極的に社会参加できるよう、移送サービス等を行いました。

○ ハンディキャブの貸出・運行(市からの受託事業) ※貸出事業は休止中

車椅子を利用している方を対象にハンディキャブを運行しました。

運行:《利用者数》 29名

《利用件数》 延べ615件

- その他、独自事業 福祉車両（ノア）の貸出
車椅子を利用している方を対象に福祉車両（ノア）を貸出しました。
《利用件数》 延べ31件

(5) 居宅介護事業（ホームヘルパーの派遣）

- 居宅介護 《利用件数》 延べ968件
 《利用時間》 1,087時間10分
- 移動支援 《利用件数》 延べ14件
 《利用時間》 28時間50分
- 同行援護 《利用件数》 延べ211件
 《利用時間》 515時間50分
- 通院介助 実績なし

14. 児童福祉・子育て支援

(1) ふれあい里親運動

県内の児童福祉施設で生活する児童を、家庭に招き交流や生活経験の機会を提供しました。（令和6年度で事業終了）

- 夏期里親運動 1世帯参加
- 冬期里親運動 参加なし

(2) ファミリー・サポート・センターの運営（市からの受託事業）

子育てをお手伝いしてほしい方（預ける会員）と子育てをお手伝いできる方（預かる会員）が相互に会員になり、子育てを支援する環境の整備をしました。

- 会員同士の需給調整等
《会員数》 1,059名
（預ける会員 810名 預かる会員 198名 両方会員 51名）
《活動回数》 3,001回
《活動時間》 3,096時間45分
《病児・病後児預かり登録》 80名
（利用会員 55名 預かる会員 25名）
《病児・病後児預かり活動回数》 12回
《病児・病後児預かり活動時間》 67時間12分
- サブリーダー会議 8回

- 入会登録会 保健センターや児童館などへの出張型の登録会として実施しました。
《開催回数》 22回
《参加者数》 66名

- 研修会 《講座数》 19講座
《参加者数》 延べ115名

- 交流会

- ① 預かる会員連絡会（ふぁみカフェ）

- 《内 容》

- 第1回「Cafe de カフェ」 会場：cafe れんげ草 参加者19名

- 第2回「みんなでリトミック」 会場：狭山台公民館 参加者24名

- 第3回「お箏とお抹茶会」 会場：社会福社会館 参加者23名

- ふぁみさぼだよりの発行
年3回（4月・8月・12月）発行 延べ3,380部
費用削減及び利便性向上のため、7月に公式LINE アカウントを開設しました。

- (3) 産前・産後ヘルパー派遣事業（市からの受託事業）

- 妊娠中または、出産直後の方が、安心して子育てができるように、産前・産後ヘルパーが家庭を訪問し、家事のお手伝い、育児相談を実施しました。

- 需給調整等
《利用者》 延べ34名
《派遣回数》 129回
《派遣時間》 230時間

- マタニティスクール参加 5名

- 保健センターからの提案により、11月からマタニティスクール終了後に産前・産後ヘルプサービス登録会を実施。

- 《開催回数》 3回
《登録者数》 2名

- (4) 狭山市子育て世帯訪問支援事業（旧：養育支援訪問事業）（市からの受託事業）

- 保護者の養育を必要とされる児童のために、その養育が適切に行なわれるよう、当該要支援児童等の居宅において、養育に関する相談、指導、助言や家事の援助を行いました。

- 《利用件数》 3件

《利用時間》 3 時間

(5) 子ども食堂への支援

地域での子育てを推進するため、子ども食堂を実施する団体への支援や、子ども食堂の普及啓発を行いました。

- 子ども食堂への助成 6 団体 360,000 円
- 子ども食堂のネットワークとの連携
- 子ども食堂に関する運営相談
- 子ども食堂マップ発行 1,000 部
- 子ども食堂への寄付として受領した物品の分配（随時） 11 回
- 子ども食堂新規立ち上げ相談 18 件

15. 介護保険事業

(1) 訪問介護

介護保険制度の指定居宅サービス事業所として、訪問介護員を派遣する業務を行いました。

- 要介護
 - 《利用件数》 延べ2,437 件
 - 《利用時間》 2,206 時間 23 分
- 予防介護 実績なし

(2) 狭山台地域包括支援センターの運営（市からの受託事業）

《相談件数》

電話	2,696 件
来所	628 件
訪問	1,311 件
文書	125 件
時間外電話	134 件
時間外訪問	5 件

《介護予防ケアプラン件数》

直営	752 件
委託	564 件

《自立支援地域ケア会議》 10 回

《自立支援評価会議》 12 回

《日常生活圏域会議》 6 回

《その他》	出前講座	43回
	ミニ講座	50回
	ファイブコグ検査	2回
	ボランティア育成	28回
	地域住民団体交流	35件
	ケアマネ相談	136回
	実習生受入	計5名
	・西武文理大学看護学部	4名（4日間）
	・西武文理大学看護学部	1名（6日間）
	家族介護支援事業	1回

（３）水富地域包括支援センターの運営（市からの受託事業）

《相談件数》

電話	3,074件
来所	667件
訪問	1,379件
文書	230件
時間外電話	61件
時間外訪問	2件

《介護予防ケアプラン件数》

直営	849件
委託	691件

《自立支援地域ケア会議》 10回

《自立支援評価会議》 12回

《日常生活圏域会議》 4回

《その他》 出前講座 1回

ミニ講座 2回

認知症サポーター養成講座 2回

ファイブコグ検査 2回

ボランティア育成 0回

地域住民団体交流 22件

ケアマネ相談 149回

16. 地域歳末たすけあい募金配分金事業

(1) 高校進学支援金給付事業

市内公立中学校に通う中学3年生のうち、修学の意欲が旺盛で、高校等の進学が決定したものの、家庭の経済的困窮等により、入学準備が十分にできない恐れのある生徒のうち、学校長からの推薦を得られる生徒に対して、給付型の奨学金の交付を行いました。

《件数》 29件

《交付額》 1,450,000円

(2) フードバンク等支援事業【再掲】

新型コロナウイルス感染症やその後の物価高の影響で生活困窮状態となった世帯を支援するフードバンクやフードパントリーが4月から3月までに行う活動に対する支援を行いました。

《団体数》 3団体

《助成額》 450,000円

17. 法外援護

公的保護に該当しないケースに対する援護：該当世帯なし

18. 災害援護

災害にあった世帯への見舞金の支給を行いました。

見舞金の支給 3件 40,000円

19. 援護資金の貸付

低所得世帯に対し、経済的自立を助長し、生活の安定を図るため、援護資金の貸付を行いました。

(1) 援護資金貸付審査委員会 開催を要する案件がなかったため開催せず

(2) 相談件数 53件

(3) 貸付件数 49件 895,000円

20. 生活援護資金の貸付

一時的な生活上の資金を必要とする世帯に対して、生活の安定と生活意欲の助長を図るため、生活援護資金の貸付を行いました。

(1) 相談件数 81件

(2) 貸付件数 75件 375,000円

21. 生活福祉資金の貸付取扱い（埼玉県社会福祉協議会からの受託事業）

低所得世帯、障害者世帯並びに高齢者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進のため、生活福祉資金の貸付を取り扱いました。

(1) 相談件数 297件

(2) 貸付決定件数 15件 1,767,000円

【貸付決定件数の内訳】

・緊急小口資金 13件

・福祉資金 1件

・教育支援資金 0件

・総合支援資金 1件

※ 県不承認・・・緊急小口資金 5件、総合支援資金 1件

※ 本人取下・・・緊急小口資金 14件、総合支援資金 1件、福祉資金 1件

2 2. 心配ごとと法律相談

住民のかかえる生活上の悩みごと、困りごとの解決に取り組むため、弁護士による法律関係の相談を行いました。

(1) 開設日

法律相談（月 1 回） 毎月第 3 金曜日

(2) 相談員

弁護士 1 名

(3) 相談実績

相談事項	取扱件数
家族	2 件
財産	7 件
住宅	4 件
離婚	2 件
医療	1 件
年金	1 件
健康・衛生	1 件
詐欺	1 件
生計	1 件
その他	5 件
合 計	2 5 件

2 3. 福祉サービス利用援助事業（埼玉県社会福祉協議会からの受託事業）

判断能力が不十分な方を対象に福祉サービスの利用援助や日常金銭管理サービス、書類等の預かりサービスを行うことにより、地域で安心して生活を送ることができるよう支援をしました。

《契約件数》 2 1 件（新規 5 件、解約 1 6 件）

《生活支援員活動回数》 3 7 4 回

《相談件数》 1, 2 9 8 件

24. 法人成年後見事業（市からの一部受託事業）

「さやま成年後見センター」において、成年後見制度の普及啓発や法人後見の受任、権利擁護に関する総合相談、成年後見制度の申立て支援を実施し、認知症高齢者や知的障害者、精神障害者が地域で安心して生活を送ることができるよう支援をしました。

（1）受任件数・活動回数

《年度末時点での受任件数》	4件（後見類型3件、保佐類型1件、補助類型0件）
《新規受任件数》	1件（後見類型1件）
《年度内の終了件数》	0件（累計受任件数 22件）
《後見支援員活動回数》	24回

（2）さやま成年後見センター運営委員会（4回）

- | | |
|-----------|--|
| 6月17日（月） | 1. 委員長、副委員長の選任について
2. 令和5年度事業報告について
3. 法人後見の受任状況について
4. 令和6年2月から令和6年4月の相談状況について
5. 成年後見の受任について |
| 10月11日（金） | 1. 法人後見の受任状況報告について
2. 令和6年5月から令和6年9月の相談状況について
3. 成年後見の受任について |
| 12月20日（金） | 1. 法人後見の受任状況報告について
2. 令和6年10月から令和6年11月の相談状況について
3. 狭山市地域連携ネットワーク協議会について |
| 3月12日（水） | 1. 令和7年度事業計画について
2. 法人後見の受任状況報告について
3. 令和6年12月から令和7年2月の相談状況について
4. 狭山市地域連携ネットワーク協議会について |

（3）成年後見制度利用促進に関する中核機関の運営

成年後見制度の利用促進に関する中核機関として「さやま成年後見センター」を位置づけ、①普及啓発、②相談、③後見人支援を行い、判断能力の有無に関わらない地域づくりを推進しました。

○ 支援者向け研修会

（居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、障害者相談支援事業所等）対象

・第1回（9月6日（金）） 参加者 28名

「死後事務について 〜いざという時に困らないために〜」

- ・第2回（11月28日（木）） 参加者 37名
「行政書士による身元保証サポートについて」
- ・第3回（12月12日（木）） 参加者 21名
「行政書士ができる権利擁護、後見等支援（高齢者等終身サポート）の援助事例について」

○ 普及啓発

- ・私の老後の生き方・暮らし方ノートの配付
- ・成年後見制度利用ガイドの増刷・配布（2,000部の増刷）
- ・出前講座 1回11名

○ 相談支援

- ・相談支援 274件（会議を含む）
- ・権利擁護法律相談 10回開催（延べ31件）

《相談実績》

相談事項	取扱件数
成年後見制度	2件
遺言・相続	8件
財産保全	5件
金銭トラブル	11件
虐待・権利侵害	3件
その他	2件
合 計	31件

○ 後見人支援

- ・相談対応 4件
- ・「後見、狭山の会」共催 5回延べ107名の参加
- ・さやま親族後見の会（2月28日（金）） 参加者8名
「悩ましい事例への対応～こんな時どうする？～」

○ 成年後見制度利用促進協議会

- ・県協議会 1回参加
- ・地区協議会 1回参加

○ 市民後見人フォローアップ研修

（市民後見人、後見支援員、日常生活自立支援事業生活支援員等）対象

- ・第1回（7月30日（火）） 参加者 21名
「アサーティブコミュニケーション ～相手の尊重と自身の意思伝達～」
- ・第2回（9月12日（木）） 参加者 20名
「意思決定支援について ～立川市の実践報告も交えた意思決定支援の工夫～」

○ 職員研修

- ・支援者のための成年後見活用講座（2名参加）

25. 生活困窮者自立支援事業等の生活困難者への総合相談

生活困難者への総合相談として、生活困窮者自立支援事業を中心に、特に経済的に困窮されている方への相談を受け付け、自立更生のための支援を行いました。

（1）生活困窮者自立支援事業（市からの受託事業）

① 相談件数

《新規相談》	437件
《プラン作成》	375件
《住居確保給付金》	新規35件、延長14件、再延長5件
《自立・就労件数》	67件

② 支援調整会議

《開催回数》	12回
《調整件数》	165件

③ 職員研修、職員ミーティング

《職員ミーティング》	12回
《相談援助スキルアップ勉強会》	12回
《ケース会議》	毎朝のミーティングの中で対応

（2）無料職業紹介所の運営

《登録企業数》	15件
《紹介件数》	17件

（3）彩の国あんしんセーフティネット事業、衣類バンク事業への協力

- ・彩の国あんしんセーフティネット事業

《相談件数》	52件
《支援回数》	55回

- ・衣類バンク事業の利用 1回
- ・連絡会議 1回開催

(4) 生活支援物資の受け入れと活用

《寄付受入件数》 295件
《支援件数》 148件

(5) フードバンクとの連携

フードバンクネット西埼玉、フードバンクさやま等と連携をし、生活困難者への一時的な食糧支援を実施しました。

《活用件数》 18件

(6) フードパントリーとの連携

フードバンクやフードパントリーを実施する団体との情報交換会を開催しました。

《日程》 3月28日(金)
《参加団体》 4団体(リモート参加1団体)

(7) 緊急自立支援給付事業【再掲】

市内に居住する生活困窮者に対し、経済的自立と生活意欲を助長促進するための伴走支援を前提とし、つなぎ資金の給付を行いました。

《給付件数》 19件
《給付金額》 172,000円

(8) 就職活動のためのデジタル支援【再掲】

就職活動に必要な機能(履歴書の作り方等)を使えるようにするための講座を、就労支援セミナー時にブースを開設しました。

《日 程》 10月29日(火)
《会 場》 市民交流センター コミュニティホール
《参 加 者》 4名

(9) 就労支援セミナー・合同就職面接会事業【再掲】

働きたい人と人材確保をしたい企業との出会いの場となる事業を企画しました。

《日 程》 10月29日(火)
《会 場》 市民交流センター コミュニティホール
《参 加 者》 41名

26. ふれあいサロンへの支援

身近な生活の場を拠点として、住民である当事者とボランティアが協働で企画し、内容を決め、共に運営していく楽しい仲間づくりの活動の相談、支援を行いました。

(1) 登録団体 45団体（新規団体 1団体）

(2) 登録研修会 1回

(3) 運営費助成 延べ46団体 646,262円

※4半期ごとの交付及び特別助成

(4) ふれあいサロン保険助成 延べ161団体27,517名分

※4半期ごとの保険加入

27. コミュニティサロン協議会の運営

狭山市内の多機能サロン、コミュニティカフェ等のネットワーク管理と協議会の運営を目的に研修会として衛生講習会を開催しました。

(1) 登録団体 51団体

(2) 衛生講習会

《日 程》 12月17日（火）

《会 場》 市民会館

《内 容》 食中毒防止について、冬場の食品管理について
調理準備、片付けの際の留意点

《参加者》 15名

28. 地域福祉活動団体への支援

(1) 地域福祉活動スタートアップ助成事業

新たに設立された地域福祉活動団体への立ち上げ時の設備費用・運営費等や既存の団体が新たな活動を始める際の設備費用の助成を行いました。

《助成団体》 5団体

《助成金額》 773,000円

(2) 民間助成金の推薦等

民間財団法人などが実施する助成金を希望する地域福祉活動団体に対して、団体の財

源確保のため、助成金申請の推薦等を行いました。

《推薦回数》 6 回

29. 人材育成

(1) 手話講習会（市からの受託事業）

手話奉仕員養成講習会 全40回、手話通訳者養成講習会（通訳Ⅱ、Ⅲ） 全40回
を実施しました。

《開催日》 4月～3月

《会 場》 社会福祉会館

《参加者》 手話奉仕員養成講習会 16名

手話通訳者養成講習会（通訳Ⅱ、Ⅲ） 7名

(2) あいさぽーター養成講座（市からの受託事業）

地域共生社会の実現を目的として、障害や障害者への理解を促進するための講座、講師の養成を行いました。

・あいさぽーター研修

《開催回数》 18回

《新規サポーター数》 157名

・メッセージャー研修

《開催回数》 1回

《新規メッセージャー》 7名

・キッズあいさぽーター研修

《開催回数》 3回

《キッズサポーター数》 206名

・あいサポート企業・団体の認定 0件

(3) 社会福祉実習、職場体験学習等の受け入れ

福祉人材の育成のため、社会福祉士等の実習を受け入れました。

西武文理大学看護学部 14名（1日間）

狭山市役所経由の実習生 3名（5日間）

白梅学園大学 2名（24日間・8日間）

西武文理大学 1名（24日間）

日本社会事業大学 1名（9日間）

東京家政大学 14名（3日間）

(4) 傾聴ボランティア養成講座

要支援者の話を聴き、心に寄り添った支援を実践するため、地域住民を対象に傾聴に関する知識や、技能習得を学ぶ講座を実施し、積極的に傾聴に係るボランティアの養成を図りました。

《開催日》 5月18日(土)～6月8日(土)(計4日間)

《参加者》 16名

30. 福祉出前講座

地域福祉活動についての浸透を図るため、市民からの要望に応え、地域福祉活動に関する出前講座を実施しました。

《講座内容等》「成年後見制度」・「住民主体の地域活動について」・「認知症世界の歩き方」
「コミュニティコーピング体験会」等

《回数》 24回

《参加者》 延べ671名

31. 老人福祉センターの指定管理

(1) 老人福祉センターの運営・管理(市からの受託事業)

《利用状況》

施設	開所日数	利用件数	利用者数
宝 荘	306 日	6,341 件(団体 599 件、個人 5,742 件)	12,799 名
寿 荘	306 日	9,007 件(団体 454 件、個人 8,553 件)	11,656 名
不老荘	306 日	13,619 件(団体 358 件、個人 13,261 件)	16,473 名
合 計	918 日	28,967 件(団体 1,411 件、個人 27,556 件)	40,928 名

※ 各館、入浴は週3回実施しており、人数や時間の制限を継続しています。

(2) 老人福祉センター自主事業

福祉・健康・教養・介護予防・仲間づくり講座、グラウンド・ゴルフ等を開催しました。

施設	事業数	参加者数
宝 荘	47 事業	6,355 名
寿 荘	30 事業	4,065 名
不老荘	30 事業	4,309 名
合 計	107 事業	14,729 名

(3) たまり場活動事業

各館で定期的を開催するたまり場活動として、宝荘「サロンはなみずき」、寿荘「笑みーる」、不老荘「ほのぼの空間」を開催しています。

施 設	回 数	参加者数
宝 荘	50 回	962 名
寿 荘	12 回	129 名
不老荘	10 回	66 名
合 計	72 回	1,157 名

(4) 健康相談事業

看護師による健康相談を行いました。

施 設	回 数	相談件数
宝 荘	39 回	854 件
寿 荘	45 回	1,219 件
不老荘	43 回	1,228 件
合 計	127 回	3,301 件

(5) 福祉何でも相談事業

C S W (コミュニティ・ソーシャル・ワーカー) による福祉何でも相談を行いました。

施 設	回 数	相談件数
宝 荘	12 回	19 件
寿 荘	10 回	20 件
不老荘	11 回	13 件
合 計	33 回	52 件

3 2. 社会福社会館の指定管理

(1) 社会福社会館の運営・管理 (市からの受託事業)

《開所日数》 3 3 2 日

《利用回数》 1, 8 7 4 回

《利用者数》 2 2, 3 8 1 名

※ 令和 6 年 1 月から夜間利用のない日は 1 7 時で閉館をすることにしました。

33. ボランティアセンター事業

(1) ボランティアセンター運営委員会 2回

- 6月19日(水) 1. 委員長、副委員長の選出
2. ボランティアグループの助成審査(4団体)
3. 令和5年度ボランティアセンター事業報告
4. 令和6年度ボランティアセンター事業計画
5. ボランティアセンター登録グループ活動報告(助成金申請外団体)
6. ボランティア活動保険のお知らせ
- 2月27日(木) 1. 狭山市ボランティアセンター登録要綱の制定について
2. 令和6年度狭山市ボランティアセンター事業経過報告について
3. 令和7年度狭山市ボランティアセンター事業計画(案)について
4. 令和6年度のボランティア活動について(意見交換)
5. 狭山市ボランティアセンター新規登録グループについて(1団体)

(2) ボランティアグループ代表者会議 1回

《開催日》 4月20日(土)

《会場》 社会福祉会館

《内容》 1. 令和6年度ボランティアセンター事業計画について
2. ボランティアセンター登録グループ提出書類について
3. ボランティア活動保険について
4. 令和6年度のボランティア活動について(情報交換)

《参加者》 15団体

(3) ボランティア活動への援助

ボランティアグループ活動費助成 4グループ 525,000円

(4) ボランティア活動の需給調整

区分	回数	人数
高齢者関係	689回	824名
障がい(児)者関係	240回	350名
児童	180回	279名
その他	11回	15名
合計	1,120回	1,468名

○登録団体 18団体(9月末で解散1団体/3月に登録1団体)

○登録個人ボランティア 409名

○新規登録ボランティア(個人) 24名

(5) 関係機関との連携

関係機関（ボランティア連絡会・保健センター・地域包括支援センター・保健所等）との連絡調整

(6) ボランティアスクール

ボランティアの発掘、育成のため、ボランティアスクールを実施しました。

① あなたにもきっと見つかるボランティア講座（予定）

《開催日》 11月5日（火）、11月9日（土）～26日（火）（体験）、
11月27日（水）（全3日）

《会場》 社会福祉会館ほか

《内容》 基礎講座、マッチング
ボランティア体験
振り返り、活動者講話

《参加者》 2名

② 災害ボランティア養成講座

《開催日》 8月17日（土）

《会場》 社会福祉会館

《内容》 災害ボランティアに行く前の準備と心構え
安全に活動するための服装等

《参加者》 16名

③ 専門講座

朗読ボランティア養成講座

《開催日》 事前説明会 9月6日（金）
9月13日（金）～11月22日（金）（全10回）

《会場》 社会福祉会館

《内容》 視覚障がい者のために広報誌などのデイジー版を作成する「音訳・朗読ボランティア」を育成する

《参加者》 14名

猫の終生預かりボランティア養成講座

《開催日》 5月23日（木）、30日（木）（全2日）
11月12日（火）、19日（火）（全2日）

《会場》 社会福祉会館

《内容》 猫の殺処分ゼロを目指すと共に、動物と暮らすことにより高齢者

が安らぎを得ることを目的に、猫の預かりに役立つ知識を学び、
ボランティアの発掘を行う

《参加者》 延べ34名

④ 地域共生のための仲間づくり講座

おうちでできるコーヒーの淹れ方講座

《開催日》 2月11日（祝・火）

《会場》 サトウさん Coffee & Lab（狭山市狭山台3丁目13-11）

《内容》 コーヒーを通して地域住民の仲間づくり

2種類のドリッパーを使用して、コーヒー豆の焙煎の度合いを楽しむ

《参加者》 8名

⑤ 世代間交流事業

《開催日》 8月10日（土）

《会場》 老人福祉センター宝荘

《内容》 eスポーツを通じて、楽しみながら世代間の交流

《参加者》 19名

（7）災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

《開催日》 11月23日（土）

《会場》 市民交流センター コミュニティホール

《参加者》 68名

（8）彩の国ボランティア体験プログラム（埼玉県社協事業）

長期休みなどを利用したボランティア活動を体験できるプログラムを提供し、ボランティア活動へ取り組む機会を提供しました。

《開催日》 7月～2月

《メニュー数》 延べ154メニュー

《参加者》 延べ133名

（9）地区ボランティアセンターの設置

《開催日》 4月～3月（第1水曜日）

《会場》 鶯ノ木団地集会所

《参加者》 12回 延べ126名

《相談件数》 1件

(10) ボランティア保険の取扱い及び保険料の一部補助

ボランティア活動が安心してできるよう、ボランティア保険（加入・事故報告等）を取扱いました。また、登録ボランティア（個人・団体）及び支部社会福祉協議会の福祉委員に対し、保険料の一部を補助しました。

○ ボランティア保険加入取扱い件数

・ボランティア活動保険	1, 790件
・ボランティア行事用保険	465件
・福祉サービス総合補償	22件
・送迎サービス補償	1件
・ふれあいサロン・社協行事傷害補償	420件

○ ボランティア保険事故取扱い件数

・ボランティア活動保険	9件
・ボランティア行事用保険	2件
・福祉サービス総合補償	1件

○ 保険料の一部補助 43件

(11) ボランティア通信の発行

年4回（7月、9月、1月、3月）発行 延べ4,000部

(12) 共学支援ボランティア養成講座

《実施時期》 5月22日（水）～7月3日（水）（全5回）

《会場》 狭山特別支援学校会場

《申込者数》 狭山1名、入間1名、飯能1名、日高0名

《ボランティア活動保険登録者数》 3名

(13) ユニバーサルスポーツ用具貸出事業

ユニバーサルスポーツ用具を貸し出し、ユニバーサルスポーツを通して高齢者や障害者の健康づくりや世代間での交流、仲間づくりを促進することを目的に実施しました。

《件数》 50件

(14) 七夕まつりやらい作成

《実施日》 7月中

《実施場所》 社会福祉会館 和室等

《参 加 者》 ボランティア連絡会世話人会
《内 容》 セタまつりに飾るやらい作成

(15) みちくさバザー参加

《開 催 日》 10月12日(土)
《実施場所》 社会福祉会館 駐車場
《内 容》 ボランティア連絡会主催のバザーの開催に協力
社会福祉協議会として出店(焼きそば・ポップコーン販売)

(16) 車いすメンテナンスボランティア

《開 催 日》 4月～3月 延べ11回(8月は荒天のため中止)
《実施場所》 社会福祉会館
《参 加 者》 延べ55名
《内 容》 ボランティアによる社協備品の車いすの点検及び修理

(17) イベント用品貸出

地域交流を推進するためのイベント用品(ポップコーンマシン、綿菓子機、杵・臼など)を自治会や障害者団体等へ貸し出しました。
《回 数》 10回

34. 有償福祉サービスささえあい狭山

(1) ささえあい狭山運営委員会 4回

- | | |
|-----------|---|
| 5月 9日(木) | 1. 委員長・副委員長の選出について
2. 各部会の今後の活動について
3. ささえあい狭山 令和5年度実績報告 |
| 8月 8日(木) | 1. 令和5年度 ささえあい狭山 会計報告
2. 各部会からの報告
3. 下半期ささえあい狭山予定について
4. 第45回社会福祉大会実行委員の推薦について |
| 11月 7日(木) | 1. 令和6年度ささえあい狭山上半期実績報告
2. 各部会からの報告
3. ガソリン代の価格変更について |

- 3月13日（木） 1. 令和7年度ささえあい狭山運営委員会事業計画について
2. ささえあい狭山 各部会活動について

※ 移送・交流促進部会は運営委員会終了後、広報部会は研修会終了後にそれぞれ開催しました。

(2) 需給調整等

《 会 員 数 》 236名
(利用会員 200名、提供会員 32名、両方会員 4名)
《 活 動 件 数 》 4,035件
《 稼 動 人 数 》 444名
《サービス提供時間》 3,537.2時間

(3) 研修会・説明会・講座

①広報部会

- ・基礎研修会 1回開催
《開催日》 4月9日（火）

②移送部会

- ・移送提供者安全運転講習 1回開催
《開催日》 11月6日（水）
《講 師》 狭山警察署 交通総務係
《参加者》 10名

③交流促進部会

- ・朝市（ブルーベリー販売） 1回開催
《開催日》 7月10日（水）
・みちくさバザー参加
《開催日》 10月12日（土）

(4) ささえあいだよりの発行

年4回発行 延べ800部

35. 第45回社会福祉大会

狭山市の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰することを目的として開催しました。

《日 程》 2月2日（日）
《会 場》 市民会館 中ホール
《内 容》 第1部 式典

第2部 講演

講師：ゴールボール男子 日本代表

パラリンピック金メダリスト 佐野優人選手

《参加者》 371名

《スローガン》 とともに未来へ！ 笑顔でつながろう さやまの福祉

36. 地域わくわく事業

地域が元気になるための、地域を応援する仕組みとして、自治会が行う地域福祉活動に対して助成を行いました。

《助成数》 8地区17事業

《主な事業内容》 防災備品整備、イベント運営費など

《助成金額》 992,000円

37. 収益事業

(1) 飲料水等販売手数料収入 589,580円

自動販売機設置場所：社会福祉会館

老人福祉センター（宝荘・寿荘・不老荘）

サンパーク奥富、教育センター、

狭山市ふれあい健康センター、狭山市保健センター

(2) 切手及び収入印紙の販売手数料収入 154,858円

社会福祉会館における販売のほか、市役所等へ販売しました。

38. 災害支援

(1) 災害義援金 251,879円（埼玉県共同募金会狭山市支会に協力）

令和6年能登半島地震災害義援金（中央共同募金会）

81,023円

令和6年7月大雨災害義援金（中央共同募金会）

105,152円

令和6年能登豪雨災害義援金（石川県共同募金会）

64,697円

大船渡市赤崎町林野火災による災害義援金（岩手県共同募金会）

1,007円

(2) 職員派遣

令和6年能登半島地震に伴う石川県輪島市災害ボランティアセンター運営支援(3名)

5月26日(日)～6月1日(土) 1名

7月1日(月)～7日(日) 1名

9月23日(月)～29日(日) 1名

(3) その他

①if イナリヤマフェスタへの参加

10月13日(日)、県営稻荷山公園にて開催される「第14回 if イナリヤマフェスタ」で災害ボランティアについてのブースを出展しました。

②いつもしフェスタ(防災フェスタ)への展示参加

11月17日(日)、市役所にて開催される「第1回いつもしフェスタ(防災フェスタ)」で災害ボランティアや災害ボランティアセンターについての展示物を出展しました。